



県高少連新聞



7月20日(月) 6、7限目に3年生の創作演技発表会を実施しました。

本来、体育祭で披露するはずだった演技ですが、体育祭が中止となった後も、体育の授業においてダンスリーダーを中心に練習を重ねてきました。そして、今回、学年クラスの結束を固める機会として発表会を開催するに至りました。

また、創作演技の発表終了後には、3年生全員で「GoGo玉名」の掛け声とともに、「玉高DREAM」の人文字をグラウンドに描き、校舎の屋上から写真を撮影しました。

(玉高 HP より)

CONTENTS

- P2～3…… 2020年度あいさつ・定期総会報告
- P4……… NEXT100年に向け、歩みだす芦高魂！
- P5……… できる方法を模索したZOOM会議(玉名高・附属中)・熊本西高校の情報発信について
- P6……… 「知っとこ！」～国と県の教育事情～
- P7……… 学校紹介 熊本県立小川工業高等学校・熊本県立南校高等学校
- P8……… 熊本県PTA共済のご案内・生徒総合保障制度のご案内



2020
SEPTEMBER

Vol.

48

令和2年度
熊本県公立高等学校PTA連合会役員紹介

役職	氏名	所属高校	地区	委員会
顧問	越猪 浩樹	熊本		
顧問	西澤 頼孝	玉名高・附中	城北	調査広報
顧問	古田 陽一	熊本農業	中央	健全育成
顧問	村上 正則	八代農業	城南	進路対策
顧問	平田 浩一	天 草	天草	総 務
顧問	牛島由紀雄			
会長	夏木 良博			
副会長	坂口 明夫	玉名高・附中	城北	調査広報
副会長	内田 政親	熊本農業	中央	健全育成
副会長	小田 善久	八代農業	城南	進路対策
副会長	船崎 秀幸	天 草	天草	総 務
理事	大野 豊重	北 稜	城北	調査広報
理事	牛島 尚彦	鹿 本	城北	健全育成
理事	三村 大和	大 津	城北	健全育成
理事	井芹 太一	高 森	城北	健全育成
理事	倉原 眞理	玉名工業	城北	進路対策
理事	秋元 里佳	熊本西	中央	調査広報
理事	山室 尚昭	湧 心 館	中央	調査広報
理事	長田 浩志	熊本工業	中央	健全育成
理事	四海 公貴	宇土中・高	中央	総 務
理事	吉田 忠敬	御 船	中央	進路対策
理事	小林 郁子	熊本商業	中央	調査広報
理事	今田 史昭	八代高・中	城南	健全育成
理事	竹田 宗徳	球磨中央	城南	総 務
理事	徳本喜一郎	八代清流	城南	調査広報
理事	出水 知子	芦 北	城南	進路対策
理事	赤松 慎二	天草工業	天草	進路対策
理事	中村恵美子	牛 深	天草	総 務
監事	池部 奨	阿蘇中央	城北	
監事	堤 英介	第 一	中央	
監事	本島 和明	八代工業	城南	

○熊本県公立高等学校 PTA 連合会事務局
事務局 長 小林 博 事務局職員 徳永麻由子

7月豪雨災害にお見舞い申し上げます

県高P連では、被災地の学校の復旧や教育活動等に役立ててもらいたい、次の取組を行いました。

○校舎が大きな被害を受けた芦北高校と芦北支援学校に「お見舞金」を届けました。

○甚大な被害を受けた城南地区の全校について、県高P連会の半額を返還しました。



左より【芦北高校】丁校長・出水会長
【県高P連】夏木会長
【芦北支援学校】秋田会長・山下校長

お知らせ

令和2年度(2020年度)地区別指導者研究大会

地区	幹事校	期 日	会 場
城北地区	高森高等学校	10月17日(土)	ホテルグリーンピア南阿蘇
中央地区	御船高等学校	10月31日(土)	御船高等学校体育館
城南地区	八代高等学校・八代中学校	11月14日(土)	八代高等学校学習室
天草地区	天草拓心高等学校	10月25日(日)	天草拓心高等学校体育館



西日本教育医療専門学校

働きながら学べる
こども未来学科[夜間]
(3年)

南九州で唯一
視能訓練士学科
(3年)

医科・歯科・調剤・介護事務の資格取得
医療事務管理士学科
(1年)

全学科就職率100%達成！ 高等教育修学支援新制度 対象校

熊本市東区健軍3丁目50番21号
TEL (096) 331-3301

健軍町電停から徒歩1分！

西教医 検索

2020年度

熊本県公立高等学校PTA連合会会長、熊本県公立高等学校長会会長
ごあいさつ



雪に耐えて梅花麗し
熊本県公立高等学校PTA連合会会長
夏木 良博

会員の皆さまにおかれましては、平素より本会の活動にご理解とご協力を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。

また、令和二年七月豪雨災害で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、早くも二学期を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響は、非常に大きく、高校生の感染も多数報告されました。今後もコロナの影響が増大する事こそあれ、無くなる事はないでしょう。しかし、生徒たちは、様々な学校行事や部活動の大会が中止になる中、出来る事を、精一杯頑張っています。特に、災害のボランティアや野球などの代替大会に取り組み姿に、力をもらった方も

多かったのではないのでしょうか。

本会の活動も九高P連宮崎大会、全国高P連島根大会、県高P連研修会など中止や延期が相次いでいます。勿論、全ての事業において、開催・実施を最初から断念したものも一つありません。その都度、協議を重ね、計画と変更・修正を繰り返しています。命を守る、感染の拡大を防止するために学校行事やPTA活動を中止する事は当然です。しかし、結果が同じだとしても、出来る限りを尽くしての結果にしたいと考えています。

本会の活動の中で、様々な分野の方々からお話を頂いています。が、今の生徒たちに身につけて欲しい事として、「チャレンジする意欲」と、「失敗した後の対応力・修正力」という意見をよくお聞きします。また、私たちは常々、子供たちに簡単に諦めるなど叱咤していかないでしょうか。であるならば、私たち大人も簡単に諦めるわけにはいきません。

県高P連は、子供たちと共に、この試練を乗り越え、生徒たちが輝けるよう、各校や諸団体との連携を図りながら努力していく所存です。



揺さぶられても倒れない、倒れても立ち上がる
熊本県公立高等学校長会会長
熊本高等学校 校長
越猪 浩樹

七月の豪雨で被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校は三ヶ月にわたり、休校を余儀なくされました。加えて七月の豪雨は地域、学校の姿を一変させ、筆舌に尽くしがたい爪痕を残しました。学校のみならず、社会の至る所で例年とは違う対応を迫られた状況の中で、会員の皆様には学校の教育活動に御理解と御協力を賜わり、校長会を代表いたしまして御礼を申し上げます。四月、先の見えない日常の中で各学校はスタートを切りました。

例年行われていた行事等の対応に学校は苦慮しました。中止すべきか、開催方法を見直して実施できないか、次年度への延期か否か。子供たちにとってはかけがえのない一年の行事であるのはもちろんのことですが、保護者にとっても、教師にとっても、目の前の我が子、我が生徒との時間はかけがえのないものです。これまで大切にしていた行事の持つ意味を深く考えながら、一つ一つ検討が進められました。

また、この間、子供たちの「学びの保障」をどのような形で進めていくのか、各学校で試行錯誤が続きました。報道で全国のオンライン授業の様子が流れるたびに、なぜうちの学校でオンライン授業ができないのかという声が多く、さんの学校から聞こえてきました。学校のICT環境整備が極めて脆弱であることが可視化されたことで、今後本県でも急速に整備が進んでいくことになるかと考えています。

先の見えない時代だからこそ、「揺さぶられても倒れない、倒れても立ち上がる子供」の教育に、家庭と学校、地域で取り組むことの大切さを皆さんと共有したいと思います。



できる方法を模索した Zoom 会議

玉名高校・玉名高校附属中学校 育友会会長 坂口明夫

このコロナ禍で、育友会総会も書面決議となり大切な議論を深められない。本部役員会議や学校関係者との顔合わせさえもできない。私をはじめ多くの役員さんは留任しましたが、新役員さんは十分な引き継ぎもできず、お互いを知らず、今後どうなっていくか分からない不安もあるだろうと思いました。

また、PTA は生徒会や部活動等の学校生活サポートと適切な運営が求められている。そのためには丁寧な議論の積み重ねが大事。「できない理由を考えあきらめるより、できる方法を模索しよう」と考えました。数年前から本部役員は LINE では情報共有は図っていましたが、やはり「顔が見える関係」作り、Zoom を活用した会議を開催しました。ネット環境やパソコンかスマホかの違いなど、やってみないと分からないことばかり、しかし慣れてくるとテレビで見たことある画面だなあと役員や家族も登場するなど、2時間以上も盛り上がりしました。

7月になり感染防止対策を図り開催した役員会では「実際には初めましてですが、Zoom でお会いしましたね」なんて挨拶が飛び交いました。今後は、状況によっては、生徒たちもリモートによる学習機会が増えるかも知れません。私たち保護者がそういったシステムを理解し、環境を整えることも大事だなと感じました。

『立ち止まるより少しでも動こう、そして明けない夜はない』そんな気持ちを胸に、これからの年度後半は、「子どもたちのため、学校のため、何かできることはないだろうか」と原点に立ち返り、力合わせて活動していきます。



熊本西高校の情報発信について

県立熊本西高校副校長 荒木 雅浩

今年、休校が明けた6月から熊本西高公式インスタグラムを立ち上げ、生徒たちの学校生活の様子や様々な学校の取組を写真や動画を使って配信しています。キッカケは、本校に赴任して1年間「文武両道を目指し日々頑張っている西高の生徒たちの様子」や「柿下校長のリーダーシップのもと始まった特色ある学校改革の取組」・「創立当初から本校の中に脈々と受け継がれている生徒に寄り添った厳しさの中にも温かさあふれる指導」等を目の当たりにし、これらをどうにかしてもっと多くの人たちに伝えたいという思いがありました。あわせて、近年生徒募集においても厳しい状況が続いており、この現状打開するための一助にならないかと考え、取組むことにしました。始めるにあたって、私はインスタグラムは未経験でしたので、まず先生方とインスタグラム配信チームを組み、とにかく毎日配信することを決めスタートしました。開始から約3ヶ月で150回ほど配信しましたが、保護者や同窓生を中心にアクセスしていただけているようです。今後この輪が広がり、より多くの方々に西高に関心を持っていただければと思います。また、生徒募集に関して、新型コロナウイルスの影響で中学生に本校に来てもらうとか本校から中学校へ出向いて説明や情報提供する機会が減少することが予想されたことや、中学校への聞き取りの中で「生徒に高校の情報提供ができない」という声も聞こえてきましたので、先生方と動画編集チームを組み動画を作成し情報提供の充実を図りました。その取組みの中のひとつとして、学校紹介動画を「先輩から後輩へ」というコンセプトで自分の出身中学校向けに本校1年生を出演させて作成し、DVD配付とあわせて期間限定でYouTube配信もしました。1年生約60名が出演してくれました。中学校によっては、配付したDVDを各HRで見せられたり、給食時間に流していただいたところもあったと聞いています。



学校法人 未来創造学園

大人になる。
プロになる。

自分をアップ
デートしよう。

KCC 熊本電子ビジネス専門学校

<http://www.denbi.ac.jp>
〒862-0976 熊本市中央区九品寺2丁目2-38
TEL (096) 362-5656 FAX (096) 362-5675

熊本デザイン専門学校

<http://www.kumamoto-design.ac.jp>
〒862-0973 熊本市中央区大江本町2-5
TEL (096) 364-8500 FAX (096) 364-2100



～ NEXT100 年に向け、歩みだす芦高魂！～

令和2年7月豪雨災害を乗り越える芦北高校

この度の豪雨災害により被災された方々へ、心よりお見舞い申し上げます。また、災害直後より芦北高校の被災に関し、本当に多くのご支援やご心配をいただき感謝申し上げます。

被災後、日を追うごとに状況が変わる中、非常にタイムリで心細やかなご支援の申し出の数々は被災の衝撃を受けた私たちにとって本当に心強く、励みされる毎日でした。なにより県高P連の皆様の迅速で思いやりのあるご対応に感謝し、PTA連合会という組織の重要性をあらためて感じると共に、熊本県公立高等学校PTA連合会とは県に誇れる組織であると確信しました。

さて、七月四日未明の豪雨により芦北高校も被災しました。学校の一階部分はすべて浸水し、その深さは事務室前廊下で八十五センチでした。一年生の教室、生徒昇降口、事務室、校長室、福祉科職員室と各実習棟、保健室、体育館、武道場、グラウンド、食品製造実習棟、農業科実習棟と各ビニールハウスなどが被害を受けました。当初は電気、水道、電話が使えず、携帯も繋がらない状況でした。二日後の月曜日にはボランティアの方々が応援に駆け付けて校内の泥の撤去作業などをお手伝いして頂きました。一週間後からは生徒も加わり、卒業生や先生方と共に泥の掻き出しや片付け作業を行いました。たくさんの方から先生方が応援に来てくださいました。上水道は十四日に、放送チャイムは二十日によりやく回復しましたが、エアコンはすべて使えない状況でした。大きな困難に直面した芦北高校ですが、多くの方々からの支援物資やお手伝い等の温かい手を差し伸べて頂きながら、二十日には学校再開に漕ぎつけることが出来ました。生徒も保護者も不安な中にも安心したと思います。生徒全員が復旧作業に取り組み、クローラーの効かない暑い教室で授業をきちんと受け、元気に夏休みを迎えました。学習環境を整えるためにたくさんの方の協力と、先生方の創意工夫で授業再開がされております。生徒においては感謝する心が育ち、助け合うことの大切さや思いやりの精神を身をもって知ることが出来たのではないのでしょうか。

芦北高校は来年創立百周年を迎えます。農業科、林業科、福祉科、合わせて二百十三名の生徒たちは、地域の熱い期待と信頼に支えられて成長する、まさに地域の宝です。芦北高校には九十九年間で先輩方が積み上げてこられた実績があります。物事に積極的に挑戦をする校風や、自然や人を相手に学ぶ専門性からは、順調でない時を乗り越えて、失敗や逆境に負けない不屈の精神が備わっていると思います。私自身も芦北高校の卒業生の一入です。生徒も保護者も先生方も、芦北高校は芦北町と共に踏ん張り時です。九十九年分の応援団の力を受け、次の百年に向けて、希望を掲げ夢に挑戦し、泥まみれになっても自信と誇りを忘れない芦高魂を磨き続けます。

(育友会会長 出水知子)



8